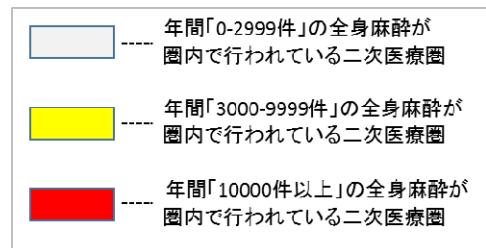
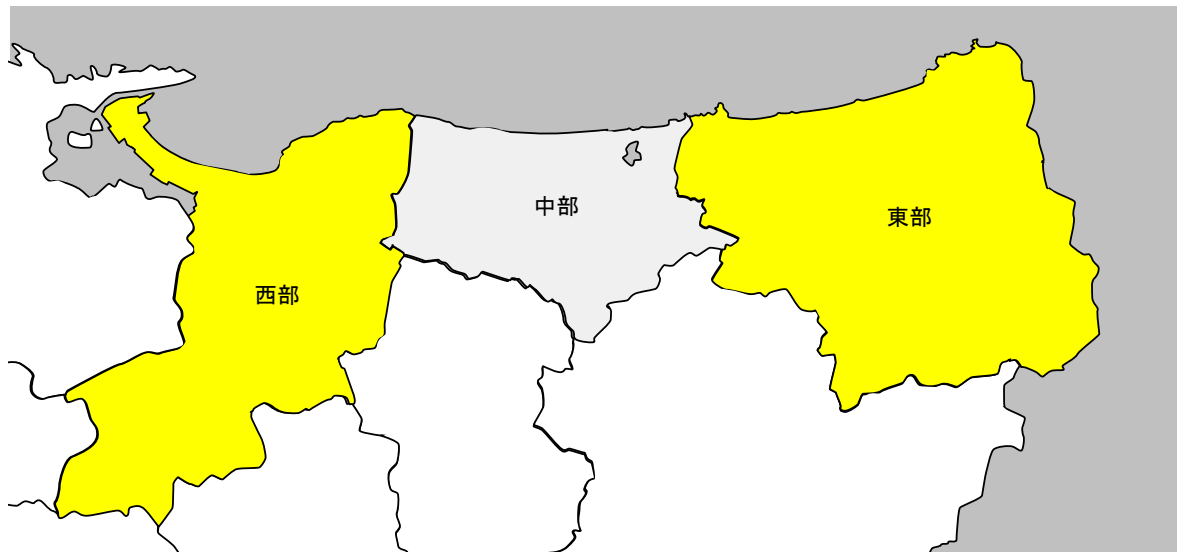


31. 鳥取県



目次

鳥取県	31	-	3
1. 東部医療圏	31	-	9
2. 中部医療圏	31	-	15
3. 西部医療圏	31	-	21

鳥取県

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は41,488人(-7%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は288人(20%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は296人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は29%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

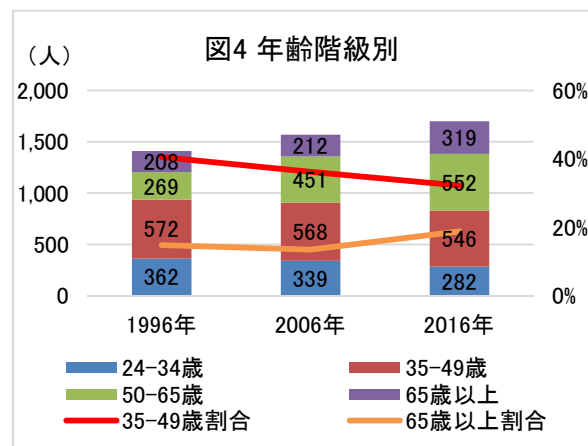
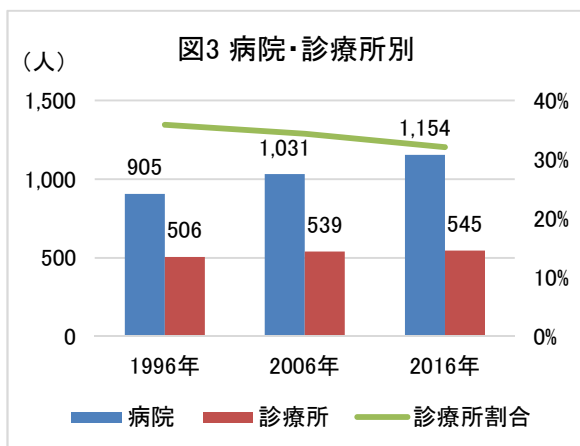
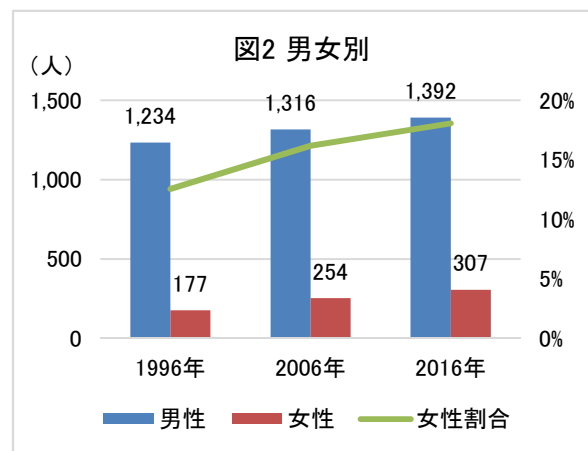
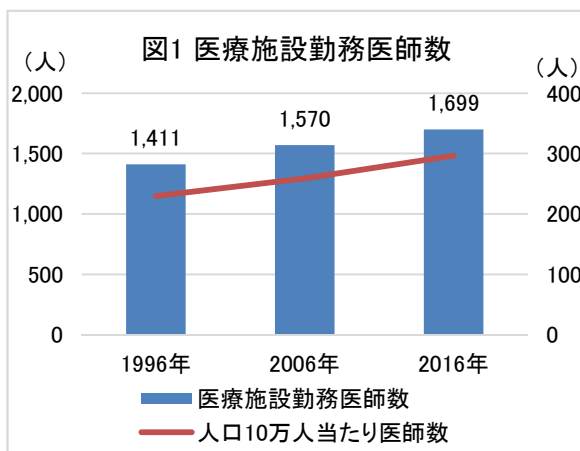
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて158人(13%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に130人(73%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は18%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて249人(28%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に39人(8%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は32%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は26人(-5%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて111人(53%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年15%、2016年19%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

鳥取県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	614,929	607,012	573,441	-41,488	-7%	-7,917	-1%	-33,571	-6%	
総医師数	1,526	1,697	1,805	279	18%	171	11%	108	6%	
人口10万対	248.2	279.6	314.8	66.6	27%	31.4	13%	35.2	13%	
医療施設勤務医師数	1,411	1,570	1,699	288	20%	159	11%	129	8%	
人口10万対	229.5	258.6	296.3	66.8	29%	29.2	13%	37.6	15%	
男性医師数	1,234	1,316	1,392	158	13%	82	7%	76	6%	
人口10万対	200.7	216.8	242.7	42.1	21%	16.1	8%	25.9	12%	
女性医師数	177	254	307	130	73%	77	44%	53	21%	
人口10万対	28.8	41.8	53.5	24.8	86%	13.1	45%	11.7	28%	
病院勤務医師数	905	1,031	1,154	249	28%	126	14%	123	12%	
人口10万対	147.2	169.8	201.2	54.1	37%	22.7	15%	31.4	18%	
診療所勤務医師数	506	539	545	39	8%	33	7%	6	1%	
人口10万対	82.3	88.8	95.0	12.8	16%	6.5	8%	6.2	7%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.4	48.2	51.4	5.1	11%	1.8	4%	3.2	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	362	339	282	-80	-22%	-23	-6%	-57	-17%
	35-49歳	572	568	546	-26	-5%	-4	-1%	-22	-4%
	50-64歳	269	451	552	283	105%	182	68%	101	22%
	65歳以上	208	212	319	111	53%	4	2%	107	50%
	75歳以上(再掲)	44	96	123	79	180%	52	118%	27	28%
男性	24-34歳	275	232	204	-71	-26%	-43	-16%	-28	-12%
	35-49歳	525	477	404	-121	-23%	-48	-9%	-73	-15%
	50-64歳	245	412	493	248	101%	167	68%	81	20%
	65歳以上	189	195	291	102	54%	6	3%	96	49%
	75歳以上(再掲)	37	88	114	77	208%	51	138%	26	30%
女性	24-34歳	87	107	78	-9	-10%	20	23%	-29	-27%
	35-49歳	47	91	142	95	202%	44	94%	51	56%
	50-64歳	24	39	59	35	146%	15	63%	20	51%
	65歳以上	19	17	28	9	47%	-2	-11%	11	65%
	75歳以上(再掲)	7	8	9	2	29%	1	14%	1	13%
病院	24-34歳	351	328	279	-72	-21%	-23	-7%	-49	-15%
	35-49歳	420	423	445	25	6%	3	1%	22	5%
	50-64歳	111	227	315	204	184%	116	105%	88	39%
	65歳以上	23	53	115	92	400%	30	130%	62	117%
	75歳以上(再掲)	4	19	34	30	750%	15	375%	15	79%
診療所	24-34歳	11	11	3	-8	-73%	0	0%	-8	-73%
	35-49歳	152	145	101	-51	-34%	-7	-5%	-44	-30%
	50-64歳	158	224	237	79	50%	66	42%	13	6%
	65歳以上	185	159	204	19	10%	-26	-14%	45	28%
	75歳以上(再掲)	40	77	89	49	123%	37	93%	12	16%
	85歳以上(再掲)	7	7	27	20	286%	0	0%	20	286%

鳥取県

＜医師数の推移＞

鳥取県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、放射線科であり、少ない診療科は、小児外科、形成外科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、脳神経外科、産婦人科(総数)、救急科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、心臓血管外科、形成外科、放射線科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,411	229.5	56	1,570	258.6	57	1,699	296.3	56	288	20%	66.8	29%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	551	89.6	54	613	101.0	58	658	114.7	58	107	19%	25.1	28%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	117	19.0	68	105	17.3	63	127	22.1	66	10	9%	3.1	16%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	67	10.9	57	78	12.8	57	96	16.7	58	29	43%	5.8	54%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	156	25.4	55	142	23.4	58	140	24.4	57	-16	-10%	-1.0	-4%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.2	46	1	0.2	44	1	0.2	43	0	0%	0.0	7%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	11	1.8	51	16	2.6	54	20	3.5	56	9	82%	1.7	95%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	33	5.4	53	36	5.9	54	30	5.2	48	-3	-9%	-0.1	-3%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	107	17.4	59	119	19.6	60	125	21.8	60	18	17%	4.4	25%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	2	0.3	44	3	0.5	43	6	1.0	44	4	200%	0.7	222%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	38	6.2	52	41	6.8	52	41	7.1	50	3	8%	1.0	16%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	55	8.9	50	63	10.4	52	65	11.3	52	10	18%	2.4	27%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	44	7.2	50	42	6.9	50	46	8.0	52	2	5%	0.9	12%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	36	5.9	58	36	5.9	55	39	6.8	55	3	8%	0.9	16%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	78	12.7	56	76	12.5	58	67	11.7	53	-11	-14%	-1.0	-8%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	12	2.0	54	22	3.8	62	22		3.8	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	27	4.4	53	38	6.3	58	41	7.1	55	14	52%	2.8	63%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	40	6.5	58	44	7.2	57	45	7.8	51	5	13%	1.3	21%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				8	1.3	50	7	1.2	44	-1	-13%	-0.1	-7%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				70	11.5	50	65	11.3	48	65	-7%	-0.2	-2%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	48	7.8	58	27	4.4	49	58	10.1	55	10	21%	2.3	30%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

鳥取県

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は105,295人(-18%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は111人(7%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は387人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は30%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

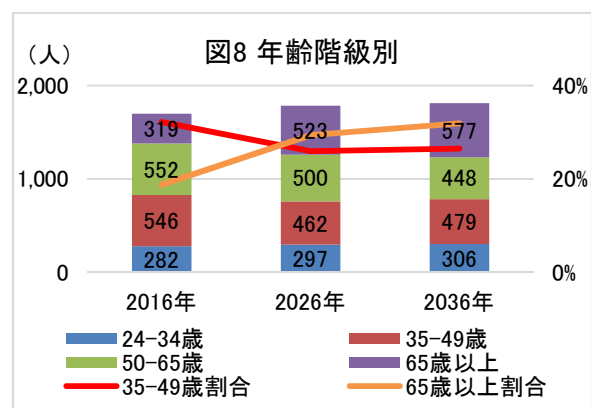
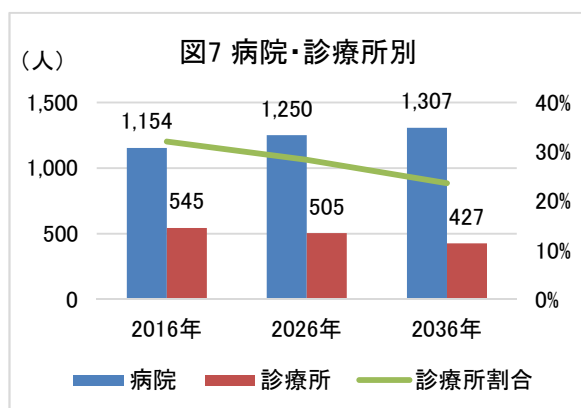
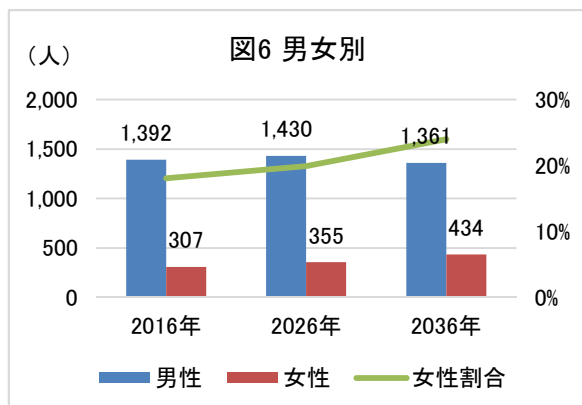
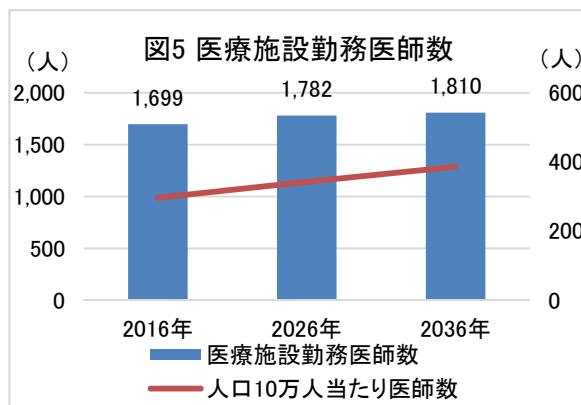
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて31人(-2%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に127人(41%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は24%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて153人(13%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に118人(-22%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は24%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は67人(-12%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて258人(81%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年19%、2036年32%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



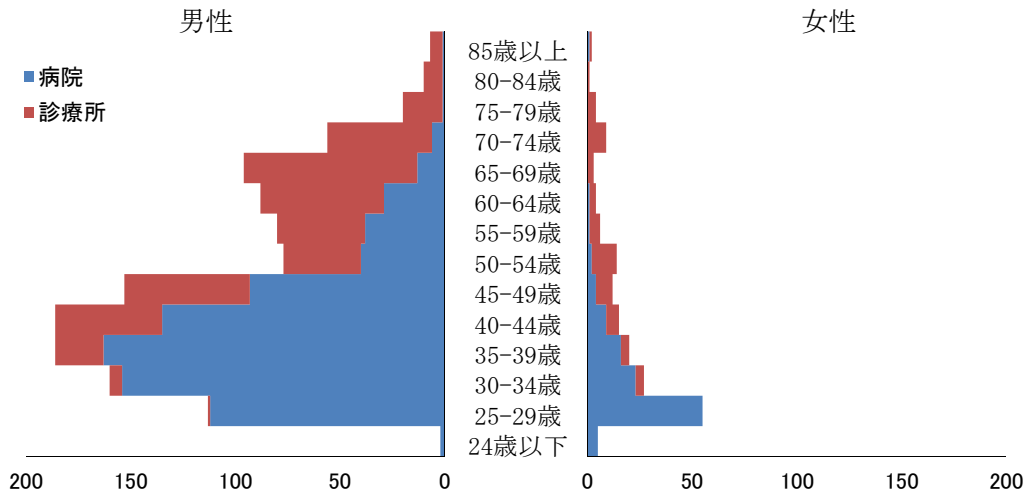
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

鳥取県

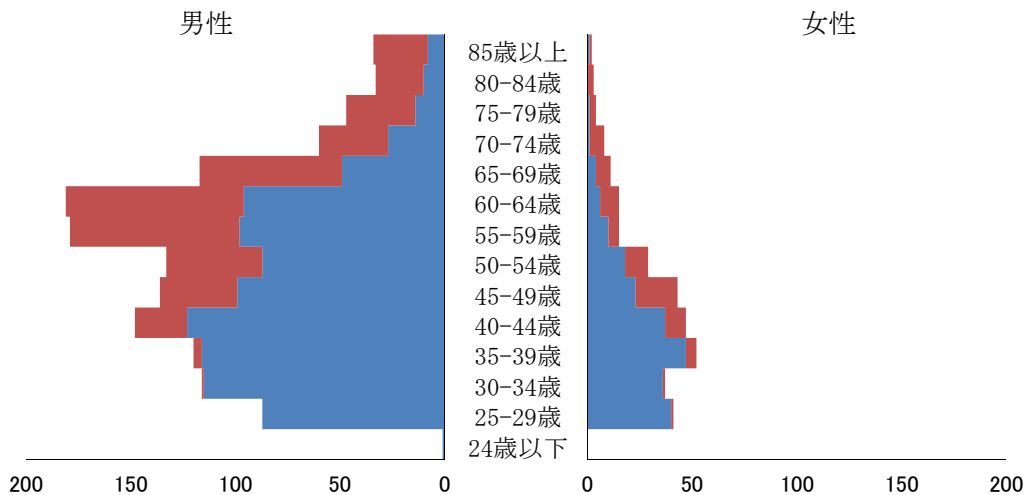
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

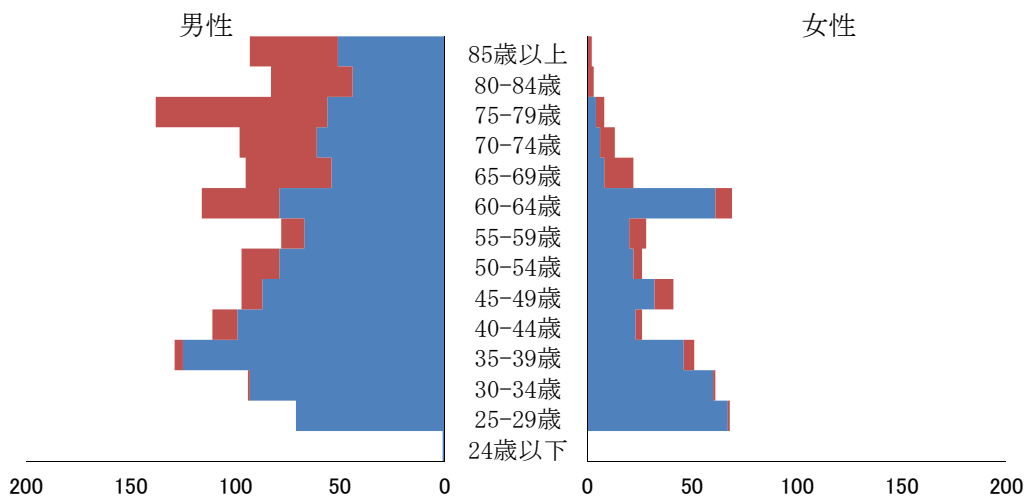
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

鳥取県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	573,441	519,861	468,146	-105,295	-18%	-53,580	-9%	-51,715	-10%	
医療施設勤務医師数	1,699	1,782	1,810	111	7%	83	5%	28	2%	
人口10万対	296.3	342.8	386.6	90.3	30%	46.5	16%	43.8	13%	
男性医師数	1,392	1,430	1,361	-31	-2%	38	3%	-69	-5%	
人口10万対	242.7	275.1	290.7	48.0	20%	32.3	13%	15.6	6%	
女性医師数	307	355	434	127	41%	48	16%	79	22%	
人口10万対	53.5	68.3	92.7	39.2	73%	14.8	28%	24.4	36%	
病院勤務医師数	1,154	1,250	1,307	153	13%	96	8%	57	5%	
人口10万対	201.2	240.4	279.2	77.9	39%	39.2	19%	38.7	16%	
診療所勤務医師数	545	505	427	-118	-22%	-40	-7%	-78	-15%	
人口10万対	95.0	97.1	91.2	-3.8	-4%	2.1	2%	-5.9	-6%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	282	297	306	24	9%	15	5%	9	3%
	35-49歳	546	462	479	-67	-12%	-84	-15%	17	4%
	50-64歳	552	500	448	-104	-19%	-52	-9%	-52	-10%
	65歳以上	319	523	577	258	81%	204	64%	54	10%
	75歳以上(再掲)	123	203	322	199	162%	80	65%	119	59%
男性	24-34歳	204	215	167	-37	-18%	11	5%	-48	-22%
	35-49歳	404	334	349	-55	-14%	-70	-17%	15	4%
	50-64歳	493	389	335	-158	-32%	-104	-21%	-54	-14%
	65歳以上	291	492	510	219	75%	201	69%	18	4%
	75歳以上(再掲)	114	189	305	191	168%	75	66%	116	61%
女性	24-34歳	78	83	127	49	63%	5	6%	44	53%
	35-49歳	142	132	132	-10	-7%	-10	-7%	0	0%
	50-64歳	59	103	110	51	86%	44	75%	7	7%
	65歳以上	28	37	65	37	132%	9	32%	28	76%
	75歳以上(再掲)	9	17	24	15	167%	8	89%	7	41%
病院	24-34歳	279	294	303	24	9%	15	5%	9	3%
	35-49歳	445	392	409	-36	-8%	-53	-12%	17	4%
	50-64歳	315	323	304	-11	-3%	8	3%	-19	-6%
	65歳以上	115	241	291	176	153%	126	110%	50	21%
	75歳以上(再掲)	34	78	148	114	335%	44	129%	70	90%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	101	50	50	-51	-50%	-51	-50%	0	0%
	50-64歳	237	166	97	-140	-59%	-71	-30%	-69	-42%
	65歳以上	204	286	277	73	36%	82	40%	-9	-3%
	75歳以上(再掲)	89	130	172	83	93%	41	46%	42	32%
	85歳以上(再掲)	27	32	46	19	70%	5	19%	14	44%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

東部医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は16,498人(-7%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は78人(17%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は225人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は26%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

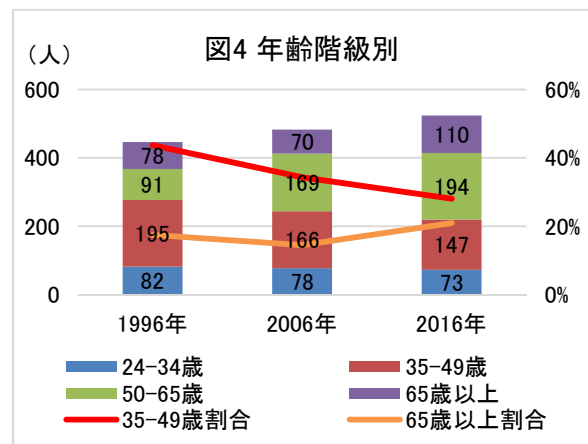
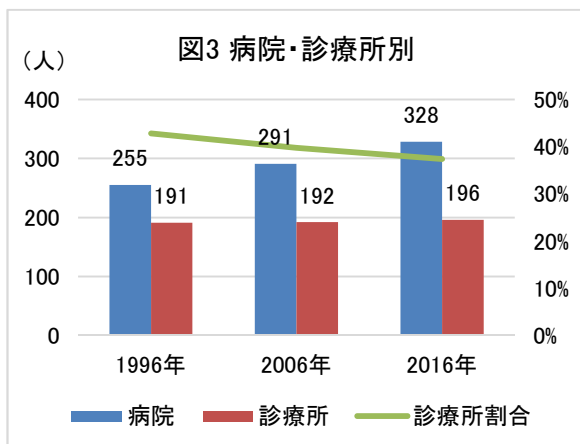
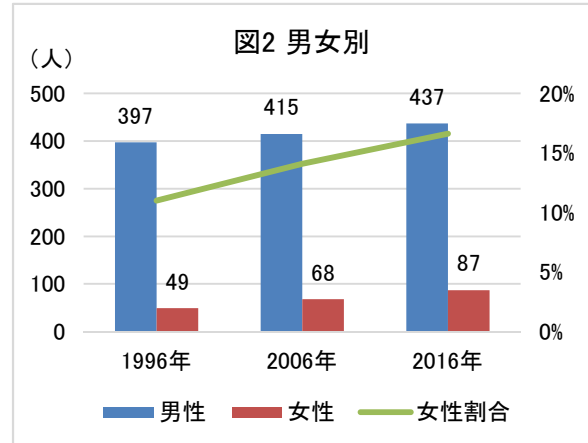
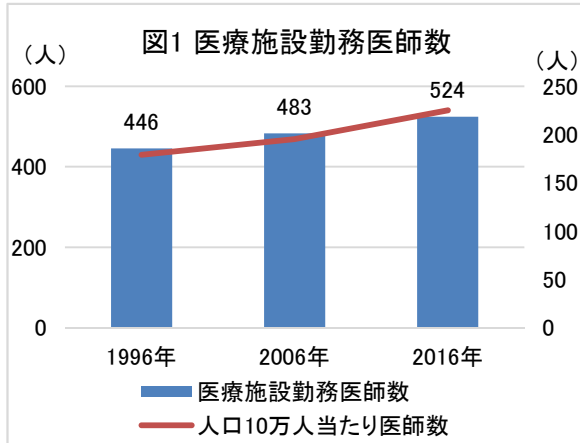
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて40人(10%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に38人(78%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は17%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて73人(29%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(3%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は37%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は48人(-25%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて32人(41%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年17%、2016年21%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

東部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	249,108	247,469	232,610	-16,498	-7%	-1,639	-1%	-14,859	-6%	
総医師数	467	533	554	87	19%	66	14%	21	4%	
人口10万対	187.5	215.4	238.2	50.7	27%	27.9	15%	22.8	11%	
医療施設勤務医師数	446	483	524	78	17%	37	8%	41	8%	
人口10万対	179.0	195.2	225.3	46.2	26%	16.1	9%	30.1	15%	
男性医師数	397	415	437	40	10%	18	5%	22	5%	
人口10万対	159.4	167.7	187.9	28.5	18%	8.3	5%	20.2	12%	
女性医師数	49	68	87	38	78%	19	39%	19	28%	
人口10万対	19.7	27.5	37.4	17.7	90%	7.8	40%	9.9	36%	
病院勤務医師数	255	291	328	73	29%	36	14%	37	13%	
人口10万対	102.4	117.6	141.0	38.6	38%	15.2	15%	23.4	20%	
診療所勤務医師数	191	192	196	5	3%	1	1%	4	2%	
人口10万対	76.7	77.6	84.3	7.6	10%	0.9	1%	6.7	9%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.5	50.0	53.3	4.8	10%	1.5	3%	3.3	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	82	78	73	-9	-11%	-4	-5%	-5	-6%
	35-49歳	195	166	147	-48	-25%	-29	-15%	-19	-11%
	50-64歳	91	169	194	103	113%	78	86%	25	15%
	65歳以上	78	70	110	32	41%	-8	-10%	40	57%
	75歳以上(再掲)	13	30	39	26	200%	17	131%	9	30%
男性	24-34歳	66	57	56	-10	-15%	-9	-14%	-1	-2%
	35-49歳	184	140	105	-79	-43%	-44	-24%	-35	-25%
	50-64歳	80	154	175	95	119%	74	93%	21	14%
	65歳以上	67	64	101	34	51%	-3	-4%	37	58%
	75歳以上(再掲)	11	27	36	25	227%	16	145%	9	33%
女性	24-34歳	16	21	17	1	6%	5	31%	-4	-19%
	35-49歳	11	26	42	31	282%	15	136%	16	62%
	50-64歳	11	15	19	8	73%	4	36%	4	27%
	65歳以上	11	6	9	-2	-18%	-5	-45%	3	50%
	75歳以上(再掲)	2	3	3	1	50%	1	50%	0	0%
病院	24-34歳	78	75	71	-7	-9%	-3	-4%	-4	-5%
	35-49歳	136	124	113	-23	-17%	-12	-9%	-11	-9%
	50-64歳	33	79	108	75	227%	46	139%	29	37%
	65歳以上	8	13	36	28	350%	5	63%	23	177%
	75歳以上(再掲)	1	5	5	4	400%	4	400%	0	0%
診療所	24-34歳	4	3	2	-2	-50%	-1	-25%	-1	-33%
	35-49歳	59	42	34	-25	-42%	-17	-29%	-8	-19%
	50-64歳	58	90	86	28	48%	32	55%	-4	-4%
	65歳以上	70	57	74	4	6%	-13	-19%	17	30%
	75歳以上(再掲)	12	25	34	22	183%	13	108%	9	36%
	85歳以上(再掲)	2	2	10	8	400%	0	0%	8	400%

東部医療圏

<医師数の推移>

東部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、小児外科、脳神経外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、脳神経外科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、麻酔科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、形成外科、放射線科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	446	179.0	49	483	195.2	49	524	225.3	48	78	17%	46.2	26%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	186	74.7	50	206	83.2	52	216	92.9	51	30	16%	18.2	24%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	31	12.4	53	34	13.7	55	37	15.9	55	6	19%	3.5	28%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	24	9.6	54	25	10.1	51	28	12.0	50	4	17%	2.4	25%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	50	20.1	49	45	18.2	50	45	19.3	51	-5	-10%	-0.7	-4%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0		0.0	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	3	1.2	47	4	1.6	48	4	1.7	46	1	33%	0.5	43%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	10	4.0	48	9	3.6	45	8	3.4	41	-2	-20%	-0.6	-14%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	33	13.2	50	33	13.3	47	40	17.2	51	7	21%	3.9	30%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.4	44	1	0.4	42	2	0.9	42	1	100%	0.5	114%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	9	3.6	45	13	5.3	47	13	5.6	46	4	44%	2.0	55%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	16	6.4	45	18	7.3	44	17	7.3	43	1	6%	0.9	14%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	13	5.2	45	10	4.0	41	12	5.2	43	-1	-8%	-0.1	-1%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	8	3.2	46	11	4.4	48	11	4.7	47	3	38%	1.5	47%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	23	9.2	48	21	8.5	48	17	7.3	43	-6	-26%	-1.9	-21%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	0.4	41	4	1.7	48	4		1.7	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	6	2.4	47	9	3.6	49	9	3.9	46	3	50%	1.5	61%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	15	6.0	56	15	6.1	54	13	5.6	46	-2	-13%	-0.4	-7%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				1	0.4	43	1	0.4	40	0	0%	0.0	6%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				20	8.1	46	29	12.5	49	29	45%	4.4	54%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	18	7.2	56	7	2.8	45	18	7.7	51	0	0%	0.5	7%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

東部医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は39,644人(-17%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は11人(2%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は277人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は23%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

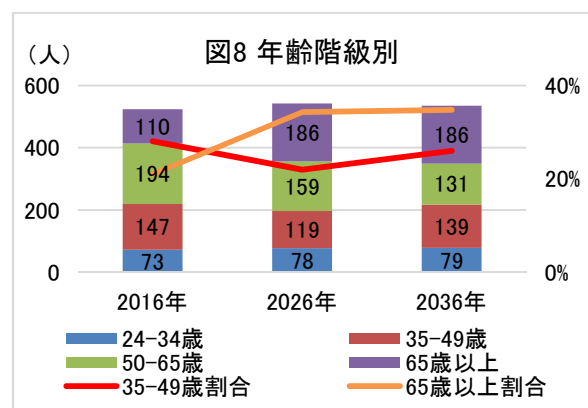
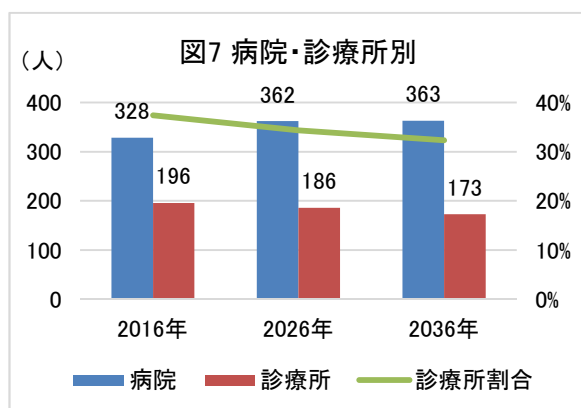
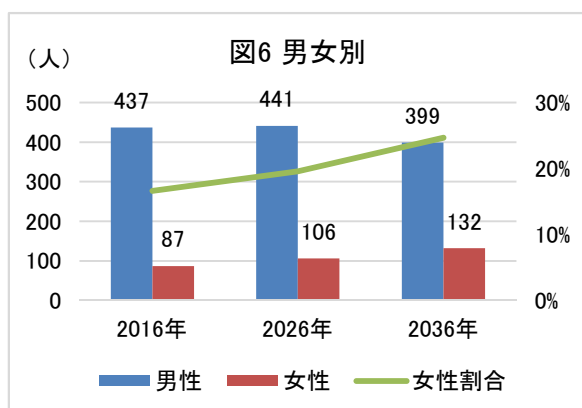
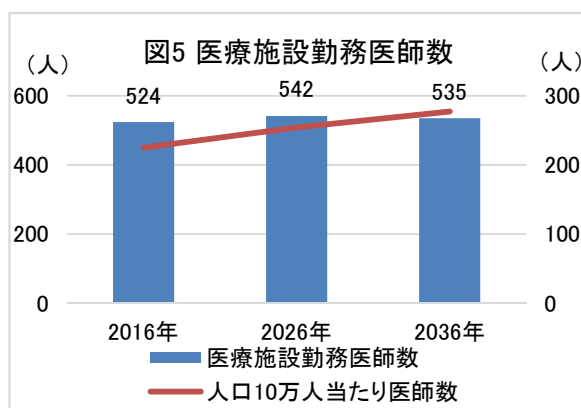
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて38人(-9%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に45人(52%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は25%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて35人(11%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に23人(-12%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は32%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は8人(-5%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて76人(69%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年21%、2036年35%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



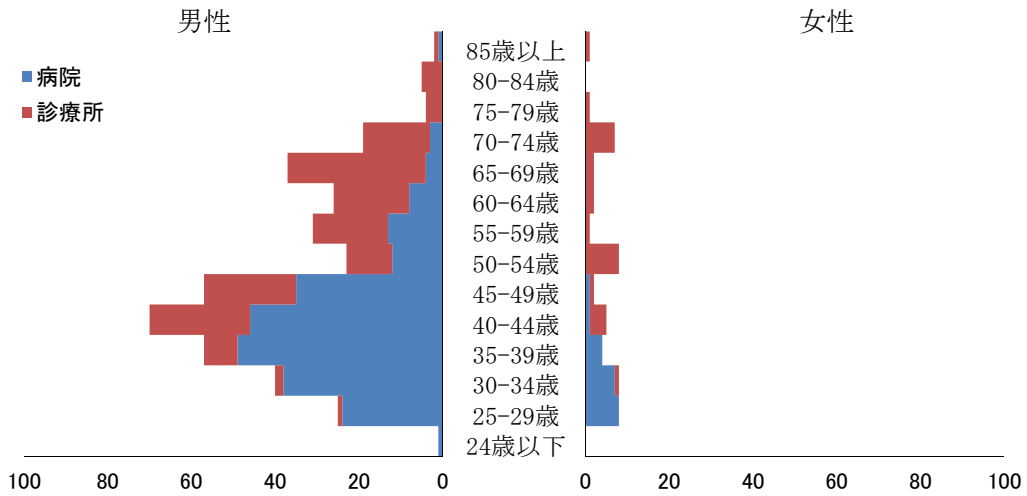
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

東部医療圏

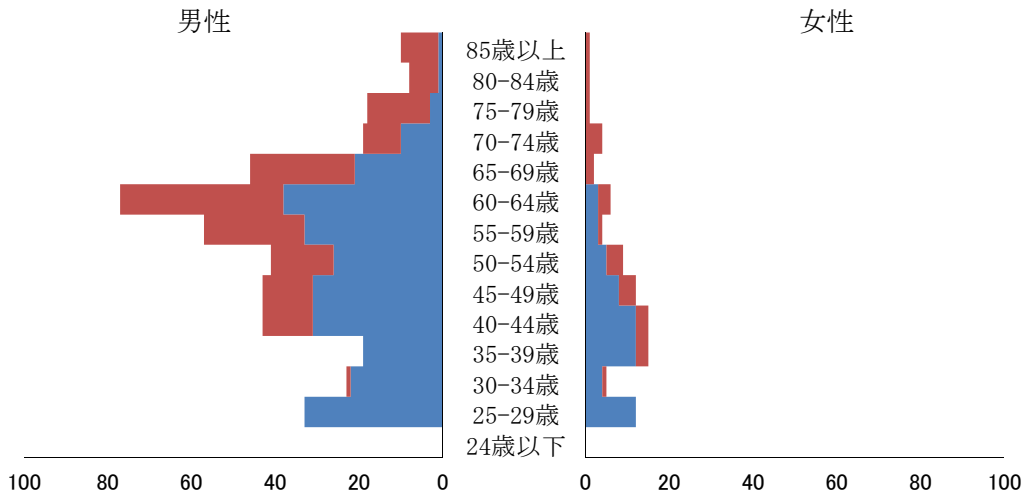
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

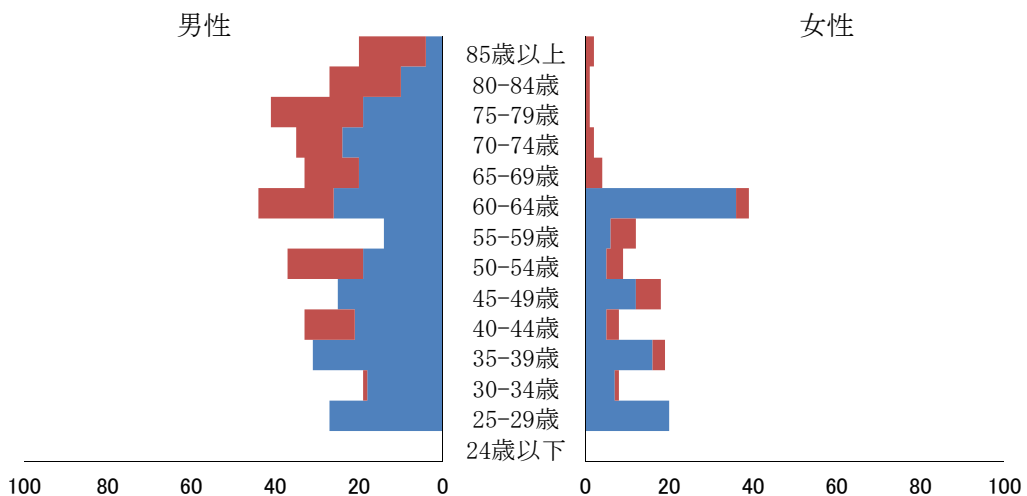
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

東部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	232,610	213,294	192,966	-39,644	-17%	-19,316	-8%	-20,328	-10%	
医療施設勤務医師数	524	542	535	11	2%	18	3%	-7	-1%	
人口10万対	225.3	254.1	277.3	52.0	23%	28.8	13%	23.1	9%	
男性医師数	437	441	399	-38	-9%	4	1%	-42	-10%	
人口10万対	187.9	206.8	206.8	18.9	10%	18.9	10%	0.0	0%	
女性医師数	87	106	132	45	52%	19	22%	26	25%	
人口10万対	37.4	49.7	68.4	31.0	83%	12.3	33%	18.7	38%	
病院勤務医師数	328	362	363	35	11%	34	10%	1	0%	
人口10万対	141.0	169.7	188.1	47.1	33%	28.7	20%	18.4	11%	
診療所勤務医師数	196	186	173	-23	-12%	-10	-5%	-13	-7%	
人口10万対	84.3	87.2	89.7	5.4	6%	2.9	3%	2.4	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	73	78	79	6	8%	5	7%	1	1%
	35-49歳	147	119	139	-8	-5%	-28	-19%	20	17%
	50-64歳	194	159	131	-63	-32%	-35	-18%	-28	-18%
	65歳以上	110	186	186	76	69%	76	69%	0	0%
	75歳以上(再掲)	39	67	105	66	169%	28	72%	38	57%
男性	24-34歳	56	60	46	-10	-18%	4	7%	-14	-23%
	35-49歳	105	78	91	-14	-13%	-27	-26%	13	17%
	50-64歳	175	123	93	-82	-47%	-52	-30%	-30	-24%
	65歳以上	101	180	169	68	67%	79	78%	-11	-6%
	75歳以上(再掲)	36	62	100	64	178%	26	72%	38	61%
女性	24-34歳	17	18	28	11	65%	1	6%	10	56%
	35-49歳	42	40	45	3	7%	-2	-5%	5	13%
	50-64歳	19	36	38	19	100%	17	89%	2	6%
	65歳以上	9	12	21	12	133%	3	33%	9	75%
	75歳以上(再掲)	3	5	8	5	167%	2	67%	3	60%
病院	24-34歳	71	76	77	6	8%	5	7%	1	1%
	35-49歳	113	96	112	-1	-1%	-17	-15%	16	17%
	50-64歳	108	101	84	-24	-22%	-7	-6%	-17	-17%
	65歳以上	36	89	90	54	150%	53	147%	1	1%
	75歳以上(再掲)	5	20	35	30	600%	15	300%	15	75%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	34	30	30	-4	-12%	-4	-12%	0	0%
	50-64歳	86	56	55	-31	-36%	-30	-35%	-1	-2%
	65歳以上	74	98	86	12	16%	24	32%	-12	-12%
	75歳以上(再掲)	34	45	57	23	68%	11	32%	12	27%
	85歳以上(再掲)	10	14	18	8	80%	4	40%	4	29%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中部医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は15,284人(-13%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は34人(19%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は202人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は37%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

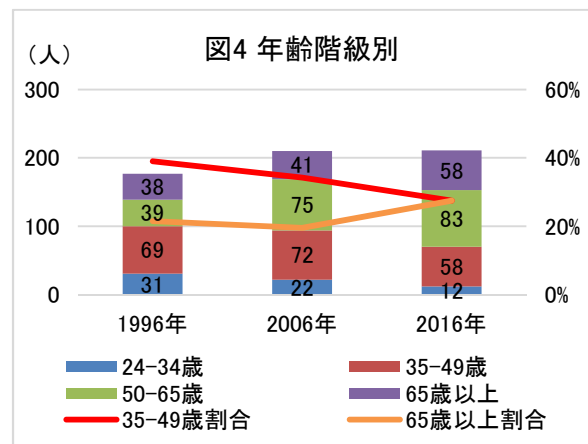
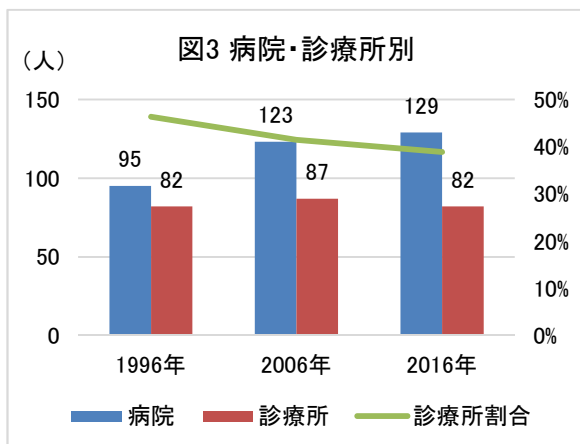
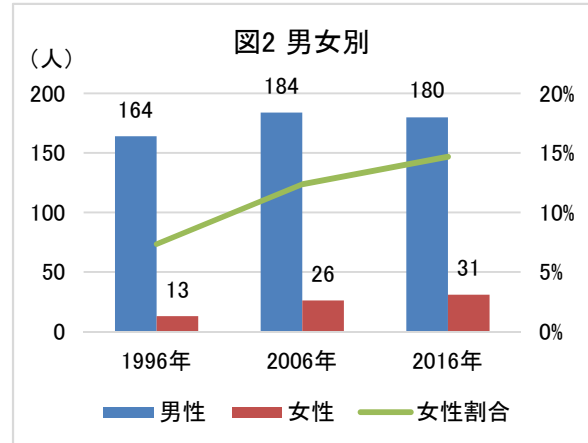
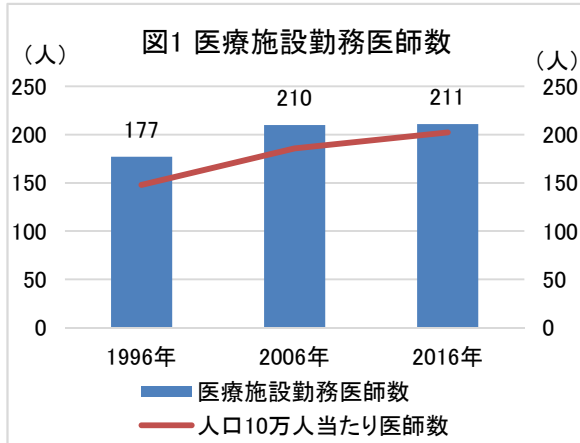
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて16人(10%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に18人(138%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は15%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて34人(36%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に増減がなく、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は39%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は11人(-16%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて20人(53%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年21%、2016年27%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

中部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	119,604	113,177	104,320	-15,284	-13%	-6,427	-5%	-8,857	-8%	
総医師数	184	224	227	43	23%	40	22%	3	1%	
人口10万対	153.8	197.9	217.6	63.8	41%	44.1	29%	19.7	10%	
医療施設勤務医師数	177	210	211	34	19%	33	19%	1	0%	
人口10万対	148.0	185.6	202.3	54.3	37%	37.6	25%	16.7	9%	
男性医師数	164	184	180	16	10%	20	12%	-4	-2%	
人口10万対	137.1	162.6	172.5	35.4	26%	25.5	19%	10.0	6%	
女性医師数	13	26	31	18	138%	13	100%	5	19%	
人口10万対	10.9	23.0	29.7	18.8	173%	12.1	111%	6.7	29%	
病院勤務医師数	95	123	129	34	36%	28	29%	6	5%	
人口10万対	79.4	108.7	123.7	44.2	56%	29.3	37%	15.0	14%	
診療所勤務医師数	82	87	82	0	0%	5	6%	-5	-6%	
人口10万対	68.6	76.9	78.6	10.0	15%	8.3	12%	1.7	2%	
医療施設勤務医 平均年齢	50.6	52.3	57.2	6.6	13%	1.7	3%	4.9	9%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	31	22	12	-19	-61%	-9	-29%	-10	-45%
	35-49歳	69	72	58	-11	-16%	3	4%	-14	-19%
	50-64歳	39	75	83	44	113%	36	92%	8	11%
	65歳以上	38	41	58	20	53%	3	8%	17	41%
	75歳以上(再掲)	9	20	25	16	178%	11	122%	5	25%
男性	24-34歳	25	15	7	-18	-72%	-10	-40%	-8	-53%
	35-49歳	65	62	42	-23	-35%	-3	-5%	-20	-32%
	50-64歳	38	70	76	38	100%	32	84%	6	9%
	65歳以上	36	37	55	19	53%	1	3%	18	49%
	75歳以上(再掲)	8	17	24	16	200%	9	113%	7	41%
女性	24-34歳	6	7	5	-1	-17%	1	17%	-2	-29%
	35-49歳	4	10	16	12	300%	6	150%	6	60%
	50-64歳	1	5	7	6	600%	4	400%	2	40%
	65歳以上	2	4	3	1	50%	2	100%	-1	-25%
	75歳以上(再掲)	1	3	1	0	0%	2	200%	-2	-67%
病院	24-34歳	29	22	12	-17	-59%	-7	-24%	-10	-45%
	35-49歳	44	49	41	-3	-7%	5	11%	-8	-16%
	50-64歳	17	38	46	29	171%	21	124%	8	21%
	65歳以上	5	14	30	25	500%	9	180%	16	114%
	75歳以上(再掲)	0	4	12	12		4		8	200%
診療所	24-34歳	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	35-49歳	25	23	17	-8	-32%	-2	-8%	-6	-26%
	50-64歳	22	37	37	15	68%	15	68%	0	0%
	65歳以上	33	27	28	-5	-15%	-6	-18%	1	4%
	75歳以上(再掲)	9	16	13	4	44%	7	78%	-3	-19%
	85歳以上(再掲)	2	1	5	3	150%	-1	-50%	4	400%

中部医療圏

<医師数の推移>

中部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、整形外科であり、少ない診療科は、小児外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、眼科、耳鼻咽喉科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、皮膚科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	177	148.0	46	210	185.6	47	211	202.3	46	34	19%	54.3	37%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	78	65.2	47	91	80.4	51	95	91.1	51	17	22%	25.9	40%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	11	9.2	46	13	11.5	50	12	11.5	47	1	9%	2.3	25%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	5	4.2	40	10	8.8	48	12	11.5	49	7	140%	7.3	175%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	20	16.7	46	19	16.8	48	21	20.1	52	1	5%	3.4	20%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0		0.0	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	2	1.9	47	2		1.9	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	5	4.2	49	6	5.3	52	7	6.7	54	2	40%	2.5	61%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	17	14.2	52	19	16.8	54	21	20.1	56	4	24%	5.9	42%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.8	48	0	0.0	39	1	1.0	43	0	0%	0.1	15%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	1.7	39	5	4.4	45	3	2.9	38	1	50%	1.2	72%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	8	6.7	46	7	6.2	42	6	5.8	39	-2	-25%	-0.9	-14%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	7	5.9	47	5	4.4	42	3	2.9	36	-4	-57%	-3.0	-51%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	5	4.2	50	6	5.3	52	7	6.7	55	2	40%	2.5	61%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	9	7.5	45	13	11.5	56	11	10.5	50	2	22%	3.0	40%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	0.9	45	1	1.0	44	1		1.0	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	1.7	45	2	1.8	43	2	1.9	41	0	0%	0.2	15%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	4	3.3	48	4	3.5	46	4	3.8	42	0	0%	0.5	15%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0		0.0	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				5	4.4	42	1	1.0	37	1	-80%	-3.5	-78%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	2.5	46	4	3.5	47	2	1.9	40	-1	-33%	-0.6	-24%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

中部医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は21,060人(-20%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は37人(-18%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は209人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は3%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

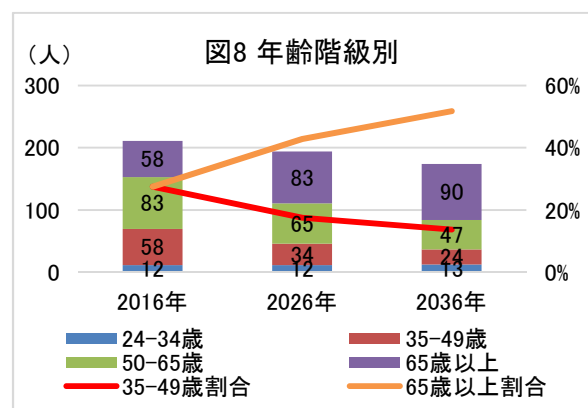
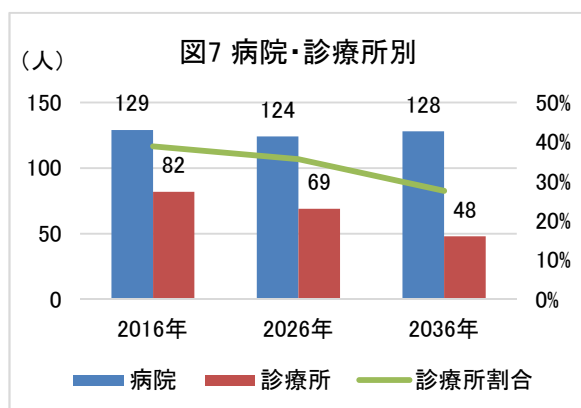
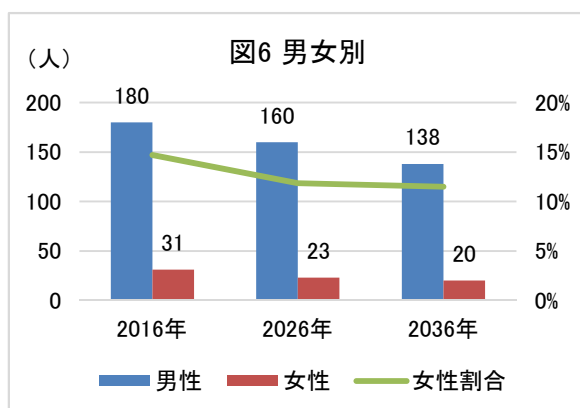
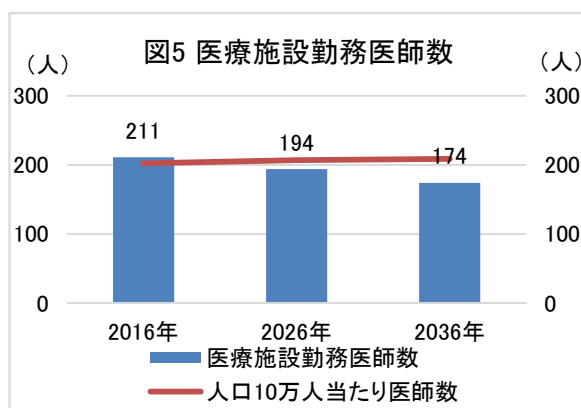
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて42人(-23%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に11人(-35%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は11%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて1人(-1%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に34人(-41%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は28%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は34人(-59%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて32人(55%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年27%、2036年52%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



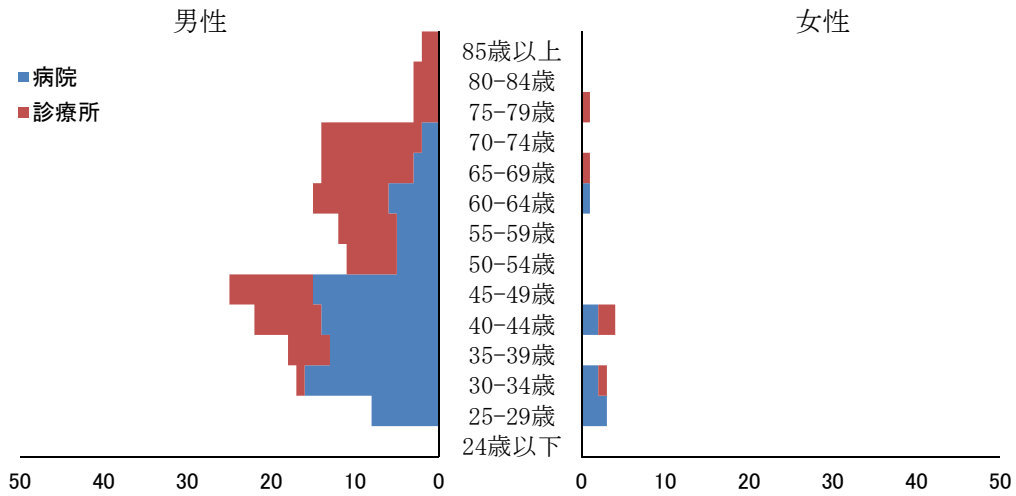
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中部医療圏

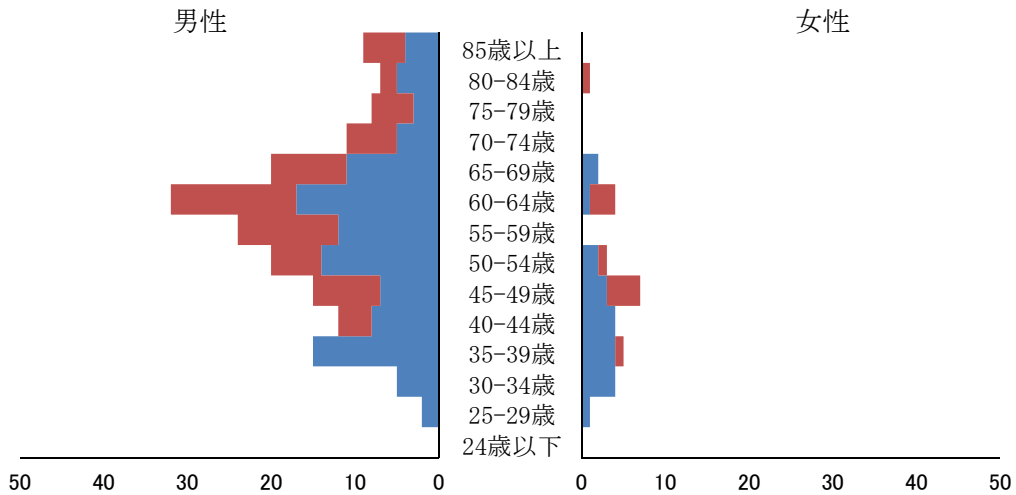
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

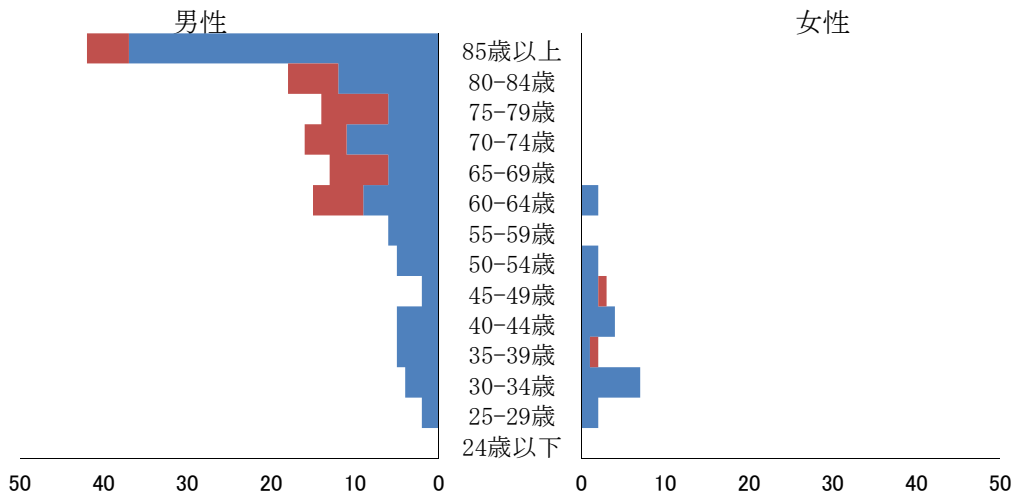
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	104,320	93,606	83,260	-21,060	-20%	-10,714	-10%	-10,346	-11%	
医療施設勤務医師数	211	194	174	-37	-18%	-17	-8%	-20	-10%	
人口10万対	202.3	207.3	209.0	6.7	3%	5.0	2%	1.7	1%	
男性医師数	180	160	138	-42	-23%	-20	-11%	-22	-14%	
人口10万対	172.5	170.9	165.7	-6.8	-4%	-1.6	-1%	-5.2	-3%	
女性医師数	31	23	20	-11	-35%	-8	-26%	-3	-13%	
人口10万対	29.7	24.6	24.0	-5.7	-19%	-5.1	-17%	-0.5	-2%	
病院勤務医師数	129	124	128	-1	-1%	-5	-4%	4	3%	
人口10万対	123.7	132.5	153.7	30.1	24%	8.8	7%	21.3	16%	
診療所勤務医師数	82	69	48	-34	-41%	-13	-16%	-21	-30%	
人口10万対	78.6	73.7	57.7	-21.0	-27%	-4.9	-6%	-16.1	-22%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	12	12	13	1	8%	0	0%	1	8%
	35-49歳	58	34	24	-34	-59%	-24	-41%	-10	-29%
	50-64歳	83	65	47	-36	-43%	-18	-22%	-18	-28%
	65歳以上	58	83	90	32	55%	25	43%	7	8%
	75歳以上(再掲)	25	36	52	27	108%	11	44%	16	44%
男性	24-34歳	7	7	6	-1	-14%	0	0%	-1	-14%
	35-49歳	42	22	16	-26	-62%	-20	-48%	-6	-27%
	50-64歳	76	51	35	-41	-54%	-25	-33%	-16	-31%
	65歳以上	55	80	81	26	47%	25	45%	1	1%
	75歳以上(再掲)	24	37	52	28	117%	13	54%	15	41%
女性	24-34歳	5	5	8	3	60%	0	0%	3	60%
	35-49歳	16	13	8	-8	-50%	-3	-19%	-5	-38%
	50-64歳	7	5	4	-3	-43%	-2	-29%	-1	-20%
	65歳以上	3	0	0	-3	-100%	-3	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	12	12	13	1	8%	0	0%	1	8%
	35-49歳	41	24	18	-23	-56%	-17	-41%	-6	-25%
	50-64歳	46	39	30	-16	-35%	-7	-15%	-9	-23%
	65歳以上	30	49	67	37	123%	19	63%	18	37%
	75歳以上(再掲)	12	25	45	33	275%	13	108%	20	80%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	17	3	3	-14	-82%	-14	-82%	0	0%
	50-64歳	37	26	8	-29	-78%	-11	-30%	-18	-69%
	65歳以上	28	40	37	9	32%	12	43%	-3	-8%
	75歳以上(再掲)	13	16	21	8	62%	3	23%	5	31%
	85歳以上(再掲)	5	4	5	0	0%	-1	-20%	1	25%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

西部医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は9,706人(-4%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は176人(22%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は408人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は27%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

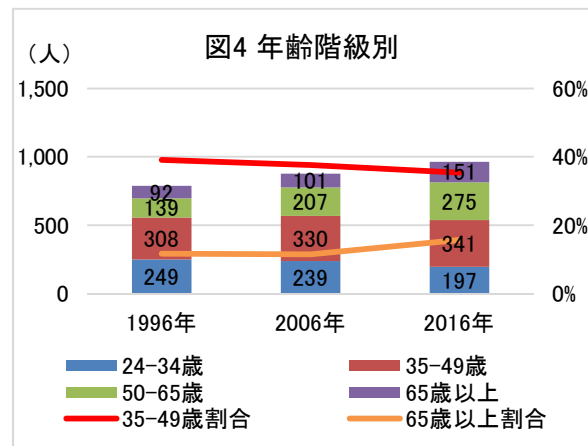
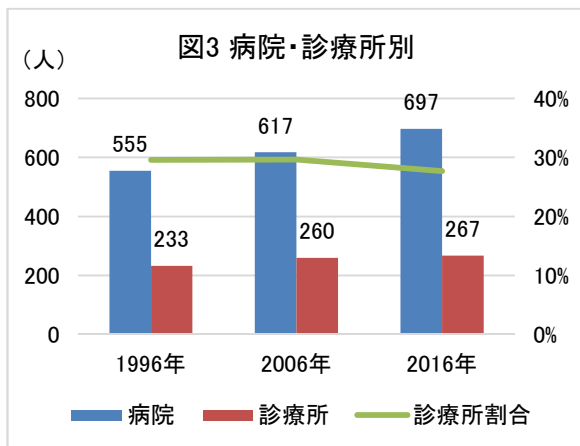
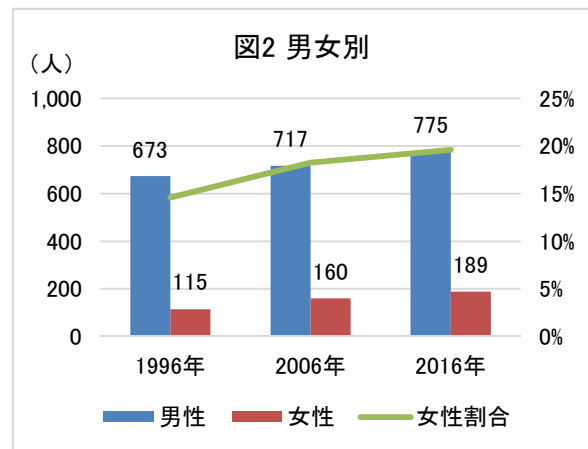
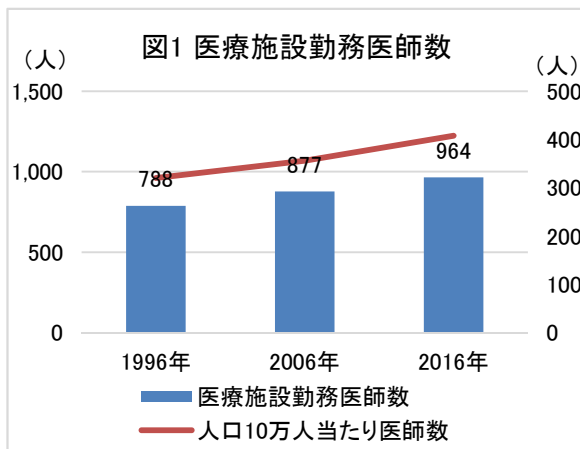
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて102人(15%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に74人(64%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は20%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて142人(26%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に34人(15%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は28%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は33人(11%)増え、全国平均(11%)と同程度の増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて59人(64%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年12%、2016年16%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

西部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	246,217	246,366	236,511	-9,706	-4%	149	0%	-9,855	-4%	
総医師数	875	940	1,024	149	17%	65	7%	84	9%	
人口10万対	355.4	381.5	433.0	77.6	22%	26.2	7%	51.4	13%	
医療施設勤務医師数	788	877	964	176	22%	89	11%	87	10%	
人口10万対	320.0	356.0	407.6	87.5	27%	35.9	11%	51.6	15%	
男性医師数	673	717	775	102	15%	44	7%	58	8%	
人口10万対	273.3	291.0	327.7	54.3	20%	17.7	6%	36.6	13%	
女性医師数	115	160	189	74	64%	45	39%	29	18%	
人口10万対	46.7	64.9	79.9	33.2	71%	18.2	39%	15.0	23%	
病院勤務医師数	555	617	697	142	26%	62	11%	80	13%	
人口10万対	225.4	250.4	294.7	69.3	31%	25.0	11%	44.3	18%	
診療所勤務医師数	233	260	267	34	15%	27	12%	7	3%	
人口10万対	94.6	105.5	112.9	18.3	19%	10.9	12%	7.4	7%	
医療施設勤務医 平均年齢	44.2	46.2	49.2	4.9	11%	2.0	5%	2.9	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	249	239	197	-52	-21%	-10	-4%	-42	-18%
	35-49歳	308	330	341	33	11%	22	7%	11	3%
	50-64歳	139	207	275	136	98%	68	49%	68	33%
	65歳以上	92	101	151	59	64%	9	10%	50	50%
	75歳以上(再掲)	22	46	59	37	168%	24	109%	13	28%
男性	24-34歳	184	160	141	-43	-23%	-24	-13%	-19	-12%
	35-49歳	276	275	257	-19	-7%	-1	0%	-18	-7%
	50-64歳	127	188	242	115	91%	61	48%	54	29%
	65歳以上	86	94	135	49	57%	8	9%	41	44%
	75歳以上(再掲)	18	44	54	36	200%	26	144%	10	23%
女性	24-34歳	65	79	56	-9	-14%	14	22%	-23	-29%
	35-49歳	32	55	84	52	163%	23	72%	29	53%
	50-64歳	12	19	33	21	175%	7	58%	14	74%
	65歳以上	6	7	16	10	167%	1	17%	9	129%
	75歳以上(再掲)	4	2	5	1	25%	-2	-50%	3	150%
病院	24-34歳	244	231	196	-48	-20%	-13	-5%	-35	-15%
	35-49歳	240	250	291	51	21%	10	4%	41	16%
	50-64歳	61	110	161	100	164%	49	80%	51	46%
	65歳以上	10	26	49	39	390%	16	160%	23	88%
	75歳以上(再掲)	3	10	17	14	467%	7	233%	7	70%
診療所	24-34歳	5	8	1	-4	-80%	3	60%	-7	-88%
	35-49歳	68	80	50	-18	-26%	12	18%	-30	-38%
	50-64歳	78	97	114	36	46%	19	24%	17	18%
	65歳以上	82	75	102	20	24%	-7	-9%	27	36%
	75歳以上(再掲)	19	36	42	23	121%	17	89%	6	17%
	85歳以上(再掲)	3	4	12	9	300%	1	33%	8	200%

西部医療圏

＜医師数の推移＞

西部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科(総数)、救急科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、心臓血管外科、放射線科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	788	320.0	67	877	356.0	69	964	407.6	69	176	22%	87.5	27%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	287	116.6	62	316	128.3	67	347	146.7	68	60	21%	30.2	26%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	75	30.5	93	58	23.5	77	78	33.0	86	3	4%	2.5	8%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	38	15.4	68	43	17.5	67	56	23.7	71	18	47%	8.2	53%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	86	34.9	65	78	31.7	69	74	31.3	67	-12	-14%	-3.6	-10%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.4	49	1	0.4	48	1	0.4	47	0	0%	0.0	4%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	8	3.2	61	12	4.9	67	14	5.9	69	6	75%	2.7	82%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	18	7.3	61	21	8.5	66	15	6.3	52	-3	-17%	-1.0	-13%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	57	23.2	71	67	27.2	76	64	27.1	70	7	12%	3.9	17%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	2	0.8	45	3	1.3	45	3		1.3	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	27	11.0	66	23	9.3	60	25	10.6	59	-2	-7%	-0.4	-4%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	31	12.6	58	38	15.4	64	42	17.8	68	11	35%	5.2	41%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	24	9.7	58	27	11.0	63	31	13.1	69	7	29%	3.4	34%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	23	9.3	73	19	7.7	63	21	8.9	63	-2	-9%	-0.5	-5%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	46	18.7	70	42	17.0	70	39	16.5	63	-7	-15%	-2.2	-12%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	10	4.1	71	17	7.2	84	17		7.2	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	19	7.7	64	27	11.0	74	30	12.7	70	11	58%	5.0	64%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	21	8.5	64	25	10.1	66	28	11.8	60	7	33%	3.3	39%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				7	2.8	61	6	2.5	50	-1	-14%	-0.3	-11%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				45	18.3	58	35	14.8	52	35	-22%	-3.5	-19%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	27	11.0	65	16	6.5	53	38	16.1	65	11	41%	5.1	47%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

西部医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は44,591人(-19%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は137人(14%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は574人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は41%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

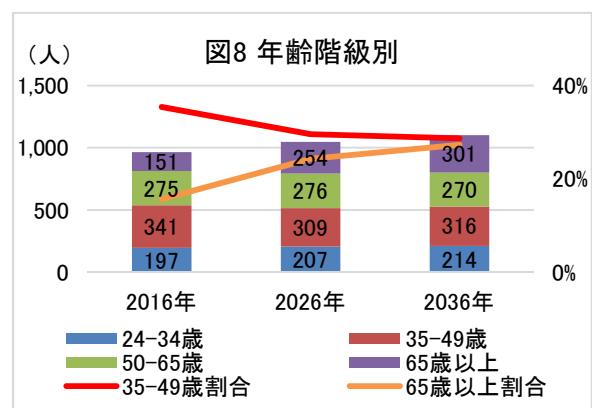
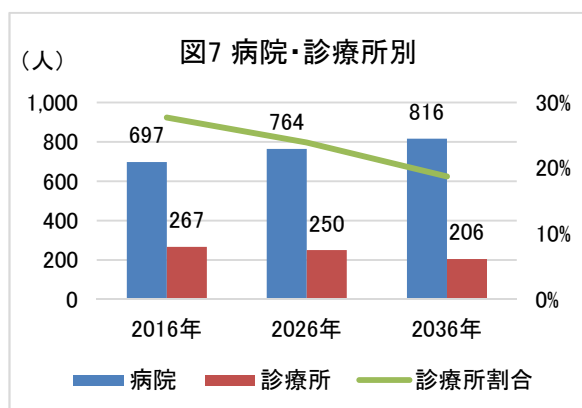
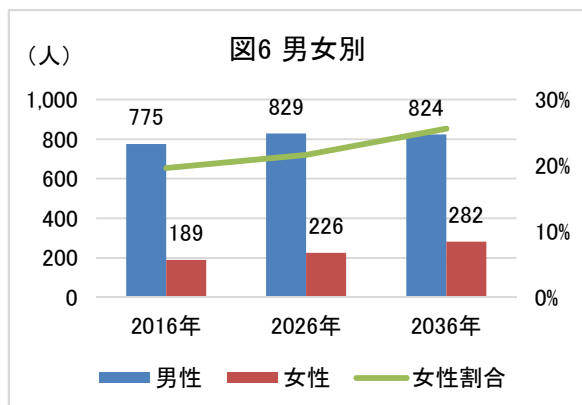
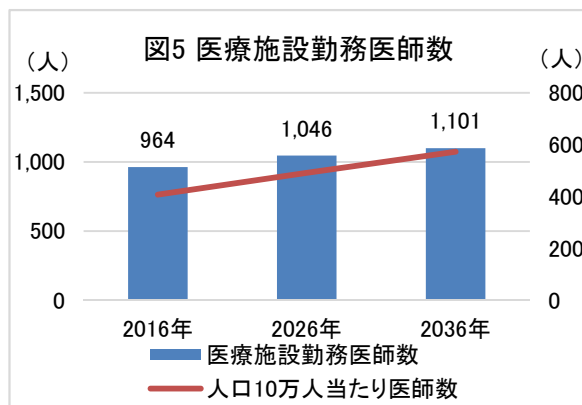
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて49人(6%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に93人(49%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は26%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて119人(17%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に61人(-23%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は19%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は25人(-7%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて150人(99%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年16%、2036年27%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



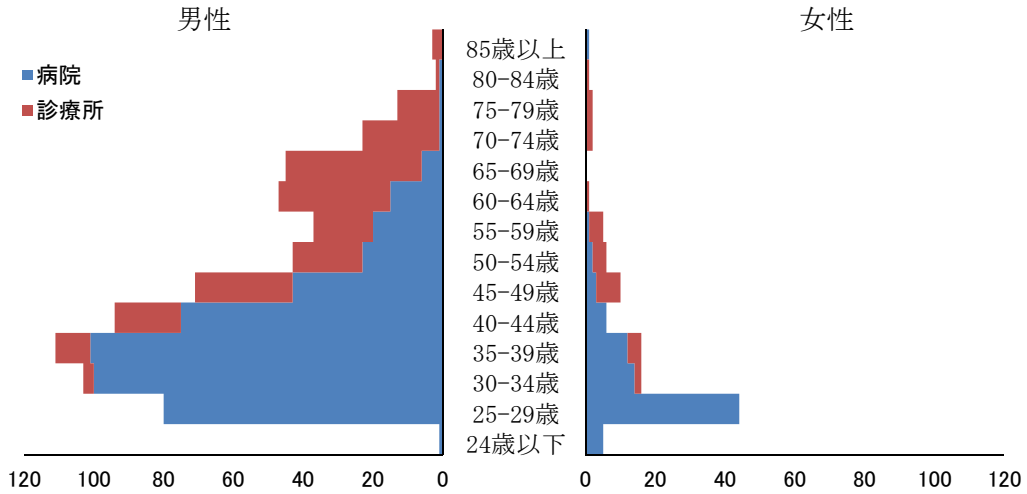
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

西部医療圏

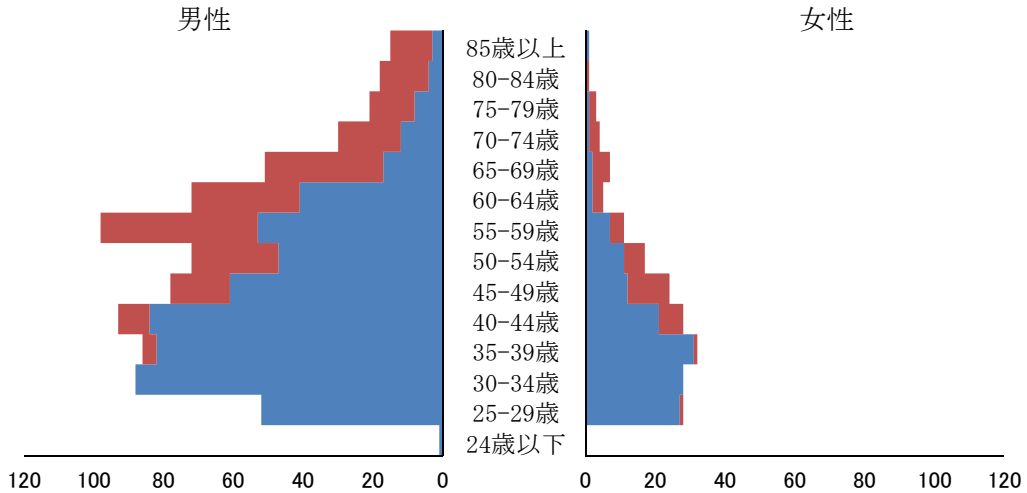
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

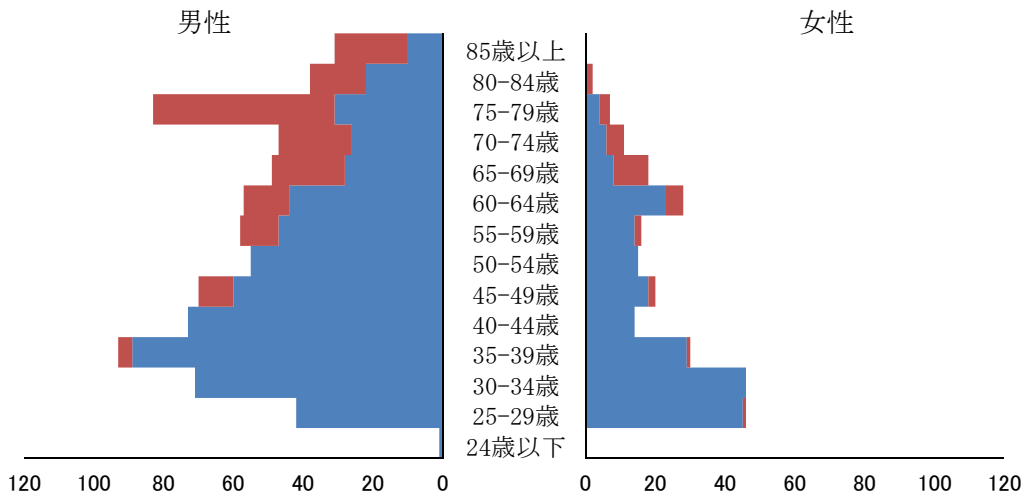
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

西部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	236,511	212,961	191,920	-44,591	-19%	-23,550	-10%	-21,041	-10%	
医療施設勤務医師数	964	1,046	1,101	137	14%	82	9%	55	5%	
人口10万対	407.6	491.2	573.7	166.1	41%	83.6	21%	82.5	17%	
男性医師数	775	829	824	49	6%	54	7%	-5	-1%	
人口10万対	327.7	389.3	429.3	101.7	31%	61.6	19%	40.1	10%	
女性医師数	189	226	282	93	49%	37	20%	56	25%	
人口10万対	79.9	106.1	146.9	67.0	84%	26.2	33%	40.8	38%	
病院勤務医師数	697	764	816	119	17%	67	10%	52	7%	
人口10万対	294.7	358.8	425.2	130.5	44%	64.1	22%	66.4	19%	
診療所勤務医師数	267	250	206	-61	-23%	-17	-6%	-44	-18%	
人口10万対	112.9	117.4	107.3	-5.6	-5%	4.5	4%	-10.1	-9%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	197	207	214	17	9%	10	5%	7	3%
	35-49歳	341	309	316	-25	-7%	-32	-9%	7	2%
	50-64歳	275	276	270	-5	-2%	1	0%	-6	-2%
	65歳以上	151	254	301	150	99%	103	68%	47	19%
	75歳以上(再掲)	59	100	165	106	180%	41	69%	65	65%
男性	24-34歳	141	148	115	-26	-18%	7	5%	-33	-22%
	35-49歳	257	234	242	-15	-6%	-23	-9%	8	3%
	50-64歳	242	215	207	-35	-14%	-27	-11%	-8	-4%
	65歳以上	135	232	260	125	93%	97	72%	28	12%
	75歳以上(再掲)	54	90	153	99	183%	36	67%	63	70%
女性	24-34歳	56	60	91	35	63%	4	7%	31	52%
	35-49歳	84	79	79	-5	-6%	-5	-6%	0	0%
	50-64歳	33	62	68	35	106%	29	88%	6	10%
	65歳以上	16	25	44	28	175%	9	56%	19	76%
	75歳以上(再掲)	5	12	16	11	220%	7	140%	4	33%
病院	24-34歳	196	206	213	17	9%	10	5%	7	3%
	35-49歳	291	272	279	-12	-4%	-19	-7%	7	3%
	50-64歳	161	183	190	29	18%	22	14%	7	4%
	65歳以上	49	103	134	85	173%	54	110%	31	30%
	75歳以上(再掲)	17	33	68	51	300%	16	94%	35	106%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	50	17	17	-33	-66%	-33	-66%	0	0%
	50-64歳	114	84	34	-80	-70%	-30	-26%	-50	-60%
	65歳以上	102	148	154	52	51%	46	45%	6	4%
	75歳以上(再掲)	42	69	94	52	124%	27	64%	25	36%
	85歳以上(再掲)	12	14	23	11	92%	2	17%	9	64%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)